

Design
your
passion

株主のみなさまへ
第87期 報告書

2011.4.1-2012.3.31

(平成23年4月1日-平成24年3月31日)



株主のみなさまへ…………… 01

財務ハイライト…………… 03

トピックス

進化し続けるトヨタ紡織の環境技術と、
感動の移動空間を創る技術力…………… 05

世界中のお客様に
最高のモビリティライフを提案し、
信頼の輪を拡げています…………… 07





取締役社長
豊田周平

株主のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに「第87期 報告書」をお届けし、当社グループの経営方針を改めてご説明いたしますとともに、当期（2011年4月1日～2012年3月31日）の業績概況、事業概況をご報告いたします。

新たな生産拠点の設立や強化を図り、世界各地でのお客様ニーズに応えています

自動車業界におきましては、当期は東日本大震災による生産台数の著しい減少から回復に向かいましたが、タイの大洪水災害の影響などにより国内生産および輸出は前年を下回る状況となりました。日本国内ではエコカー補助金の復活など明るい材料もありますが、円高の継続やガソリン価格の高騰など依然として厳しい状況が続いております。このような情勢の中で、当社の事業展開といったしましては、新たな生産拠点の設立や強化を図るなど世界各地でのお客様ニーズに応えるとともに、最適な生産・物流体制を構築し、地域一体となった効率的な運営に取り組んでまいりました。欧州の自動車部品メーカー ポリテック社の内装事業を取得、昨年7月に紡織オートモーティブヨーロッパとして営業を開始し、ビー・エム・ダブリュー、ダイムラー、フォルクスワーゲンなど欧州大手自動車メーカーとの取引を開始いたしました。また、新型ヤリスのシート受注に伴い、ポーランドのTBAI ポーランド、フランスのトヨタ

紡織ソマンでそれぞれ昨年6月、7月に生産を開始いたしました。さらに欧州の最新トレンドが行き交い、多くの素材メーカーが創り出す最先端の材料が豊富なデザイン発信地であるイタリア ミラノ市に欧州における初のデザイン開発拠点として、カーインテリアのデザインスタジオを新設し、昨年9月より活動を開始いたしました。

円高の影響や製品価格変動の影響などにより前年同期に比べ、減収減益となりました

2011年度の業績につきましては、前年同期に比べ減収減益という結果となりました。

当期の連結の売上高は9,642億円（前年同期比194億円減）、営業利益209億円（同159億円減）、経常利益232億円（同128億円減）、当期純利益32億円（同82億円減）という業績となりました。

また配当金につきましては、株主のみなさまへの安定的な配当の継続を重視し、1株当たり期末配当金を9円、中間配当金とあわせて年間配当金を1株当たり16円とさせていただきます。

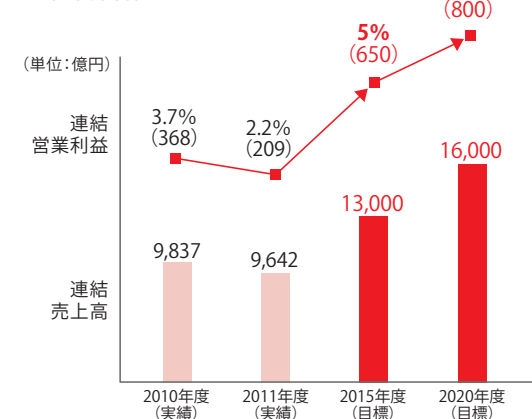
2020Vision、2015中期経営計画を策定しました

次期業績予想に関しましては、売上高1兆100億円、営業利益300億円、経常利益300億円、当期純利益130億円を見込んでおります。日本経済は復興需要の顕在化などにより緩やかな回復が続き、エコカー補助金

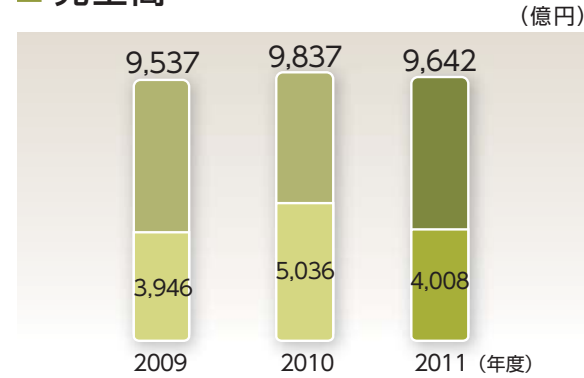
の復活などにより個人消費も改善傾向にあると思われませんが、欧州の景気低迷や長期化する円高に加えて足元の原油価格の高騰など依然として予断を許さない状況が続くものと思われれます。

このような厳しい経営環境の中で、さらなる飛躍をほかり、もう一段上のステージを目指していくために、「2020Vision」を策定いたしました。「2020Vision」では、2020年度にありたい姿として「世界中のお客様に最高のモビリティライフを提案し続ける会社」、「すべてのステークホルダーから信頼され、共に成長する会社」を掲げました。また、ビジョン達成に向けた2015年度までの中期経営計画を策定し、2011年度から2015年度までを「飛躍のための構造改革期」と位置づけ、今後の成長市場である新興国における激化や海外生産シフトへの対応、新規顧客の獲得など、グローバルに勝ち残るための新たな体制を構築してまいります。株主のみなさまにおかれましては、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

■ 経営目標



売上高



販売台数はやや増加しましたが、円高の影響、製品構成の影響などにより減収となりました。

経常利益



営業利益と同様に、製品価格の変動影響などにより減益となりました。

営業利益



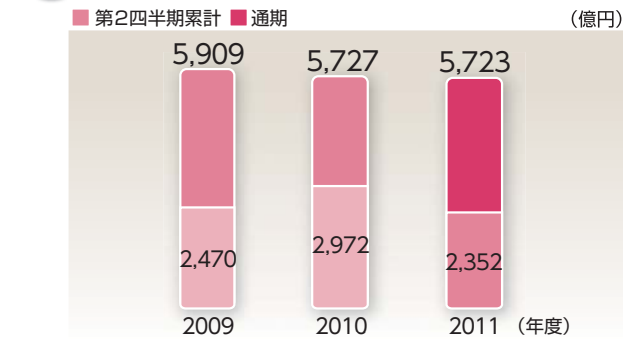
合理化などの増益要因はありましたが、製品価格変動の影響、労務費・諸経費の増加などにより減益となりました。

当期純利益



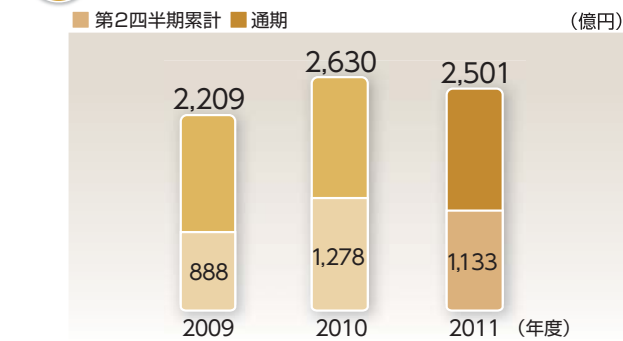
震災の影響による特別損失計上や、経常利益の減少などにより減益となりました。

日本の売上高の推移



トヨタ プリウスα、アクアなどの新車立上げによる増産効果はありましたが、製品構成の影響などにより、前年同期に比べ3億円減少の5,723億円となりました。

アジア・オセアニアの売上高の推移



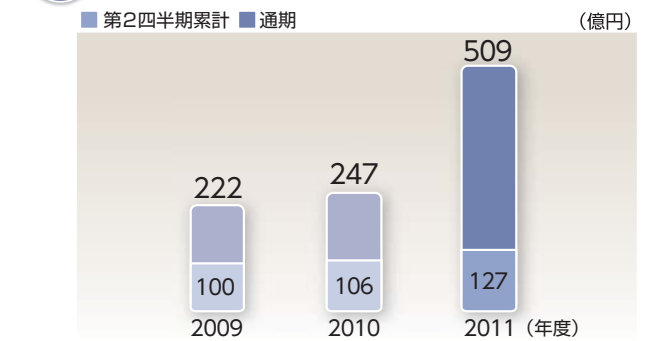
中国でのトヨタ カローラバースの新車立上げなどによる増産効果はありましたが、円高の影響などにより、前年同期に比べ129億円減少の2,501億円となりました。

北中南米の売上高の推移



トヨタ カムリなどの減産および円高の影響などにより、前年同期に比べ、347億円減少の1,424億円となりました。

欧州・アフリカの売上高の推移



フランスのトヨタ ヤリスの増産効果や、ポリテック社の内装事業部門を取得し、紡織オートモーティブヨーロッパを設立したことなどにより、前年同期に比べ262億円増加の509億円となりました。

進化し続けるトヨタ紡織の環境技術と、感動の移動空間を創る技術力

地球にやさしい植物由来材料の積極的な活用を推進し、新しい製品が相次いで世に送り出されました。

トピックス 01 環境技術 植物材料ケナフを活用した 新たな自動車内装部品を開発

従来のケナフ技術を応用し、より軽量化したドアトリムおよびシートバックボード基材を開発、トヨタ自動車(株)から発売された新型レクサスGSに採用



レクサスGSに採用されたドアトリム基材

されました。原料のPP※1とケナフ繊維との親和性を高める添加剤を配合し、PPとケナフの接合強度を高めることで、従来比20%の軽量化を実現しました。またこの基材成形工程においては、プレス成形と樹脂製構造物の射出成形を同時に行う樹脂部品同時成形工法を開発し、生産効率の向上と裏面構造物の小型化、軽量化を図っています。

※1 ポリプロピレン

循環型社会の実現を目指し、植物由来材料を積極的に活用

トヨタ紡織は、大気中のCO₂を増減させない循環型社会の実現を目指し、植物由来材料の活用を積極的に進めています。例えば、成長が早くCO₂固定能力が高い一年草ケナフに着目し、自動車部品に採用する研究を続けてきました。現在ではドアトリムだけでなく、多くの自動車部品に採用されています。また、ケナフのほか「ポリ乳酸」や「ひまし油」などの植物由来材料を活用した内装部品の製品化も実現しています。



インドネシアのケナフ栽培地

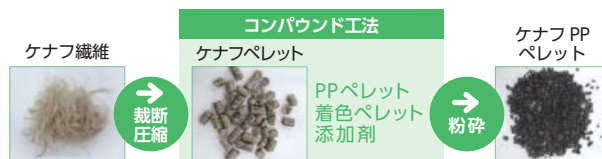
トピックス 02 環境技術 植物材料ケナフを活用した エンジン関連部品を初めて開発

ケナフを活用した内装部品の開発に取り組んでいる中で、植物材料を活用したエンジン関連部品(エアクリーナーケース)を初めて製品化しました。(株)デンソーの商標にて、1月よりトヨタ自動車(株)から発売されているクラウンコンフォートに採用されました。射出成形部品の材料に必要な流動性を確保し、ケナフ40%という高い配合率ながらも、高い製品品質を確保したコンパウンド工法を確立し、従来比で10%の軽量化と二酸化炭素排出量の20%削減を実現しました。



トヨタ クラウンコンフォートに採用されたエアクリーナーケース

●ケナフを使用した射出成形材料の混合工程



PICK UP

2012年愛知環境賞「銅賞」を受賞

愛知環境賞は、資源循環や環境負荷の低減を目的に、先駆的で効果的に取り組む企業に愛知県から贈られるものです。当社はケナフの種子栽培から製品化までを事業化し、環境に配慮した自動車部品の開発と普及を進めてきたことが評価されました。



受賞の様子

トピックス 03 技術開発 トヨタ86、スバルBRZのシート、 吸気系部品を開発



トヨタ 86のシート

トヨタ自動車(株)と富士重工業(株)の共同開発である小型FRスポーツ車のシートと吸気系部品を開発し、2012年4月発売のトヨタ86、スバルBRZに搭載されました。シートは、「新時代のスポーツカー」「誰もが操る楽しさを体感できるクルマ」として造り込まれたこのクルマに、ふさわしいものに仕上がりました。スポーツ走行による前後左右のG(重力加速度)にも、身体の軸がぶれず、かつ車両の挙動をしっかり感じ取るために、身体を深く面で支えるシートバックとクッション断面を追求。加えて、ペダル操作がしやすいシート前端部の形状や、シフト操作性に考慮し肘部が当たりやすい形状を実現しました。吸気系部品は、スポーツカーの魅力の一つである心地よいエンジン音創出に貢献しました。



トヨタ 86



吸気系部品

トピックス 04 技術開発 上海、東京で モーターショーに出展



東京モーターショー当社ブース

トヨタ紡織は2011年4月に上海国際モーターショーへ初めて出展し、中国で生産・販売しているシートやドアトリム、フィルターなどをフルラインナップで展示。拡大する中国市場でのさらなる知名度向上を図りました。また、12月には東京モーターショーに出展しました。エキサイティングなドライブを楽しめる、新しい移動空間モデルの提案や、自動車レース専用シート、トヨタ86シートを展示したほか、植物由来原料を活用した自動車部品などを紹介しました。両モーターショーとも、大変多くの方にご来場いただき、当社の技術力をPRする良い機会となりました。



上海国際モーターショー当社ブース

世界中のお客様に最高のモビリティライフを提案し、信頼の輪を拡げています

世界各国で始まっているトヨタ紡織グループの様々な活動。モノづくりにとどまらず、社会貢献活動も進めています。

トピックス 05 事業展開 米国ミシシッピ州で 自動車内装部品の生産を開始

2011年11月に、トヨタ紡織ミシシッピ(以下、TBMS)とシステムオートモーティブインテリア(以下、SAI)がトヨタ カローラのシートとドアトリムの生産を開始しました。シートについてはTBMSがシートフレームを生産し、SAIでシートに組み立てます。また、TBMSではドアトリムも生産します。TBMSはリーマンショックにより生産準備を延期していましたが、このたび生産を開始し高品質なモノづくりに取り組んでいます。



トヨタ紡織ミシシッピ

トピックス 06 事業展開 ポーランドとフランスで 生産を開始

トヨタ紡織とアイシン精機(株)の合併会社で、自動車用内装部品を生産するTBAI ポーランドが自動車用シートフレーム、シートカバーの生産を2011年6月より開始しました。また、欧州連合地域で当社として初めてのシート生産拠点であるトヨタ紡織ソマン(以下、TBSO)は、トヨタ ヤリスのシートを7月に生産開始しました。TBSOはシートに加え、天井、エアクリナーやキャビンエアフィルターの生産も行います。特にキャビンエアフィルターは、濾材生産からアセンブリーまで一貫生産するもので、トヨタ紡織グループにとって日本以外での一貫生産は今回が初めてとなります。



TBAI ポーランド



トヨタ紡織ソマン

トピックス 07 事業展開 トヨタ紡織東北で トヨタ アクアのシートを生産開始

世界最高水準の低燃費を実現した小型ハイブリッド車トヨタ アクアのシート、ドアトリムの生産をトヨタ紡織東北の岩手の工場(北上、金ヶ崎)で2011年12月より開始しました。トヨタ アクアは販売開始以来好調な受注が続いており、期待が膨らんでいます。



トヨタ アクア

トヨタ紡織東北 金ヶ崎工場

トピックス 08 社会貢献 「TABLE FOR TWO」活動を スタート

食料不足が深刻なアフリカ諸国の子供たちに学校給食を提供する「TABLE FOR TWO」の活動を2011年11月よりスタートさせました。この「TABLE FOR TWO」は社員がヘルシーメニューを購入すると、1食あたり20円(会社と社員がそれぞれ10円ずつ負担)を寄付に充て、1食分の学校給食(20円)を提供します。この活動で2012年3月までに、3,698食(73,960円)の寄付ができました。

TABLE FOR TWO



© TABLE FOR TWO



毎週1回、6工場スタート

トピックス 09 社会貢献 インドネシア熱帯林再生プロジェクト、 活動開始から6年の成果を報告

2006年の活動開始から6年が経過した2012年3月、現地にて政府関係者や地区代表者など、約100名を招待し活動の成果報告会を開催しました。これまでの成果として、約160ha、約30万本の植林により、現在では7~8mまで成長した木も見られる豊かな森に成長したことを報告しました。今後は現地住民とNGOが中心に活動を進めますが、現地法人のトヨタ紡織インドネシアが引き続き活動をサポートしていきます。



ミモザアカシアやモクマオウなど外来種の苗木を植林

企業スポーツ活動

女子バスケットボール部が W1リーグで優勝

2011年10月に開幕した第13回W1リーグで初優勝を成し遂げました。次期シリーズはW1リーグでの戦いになりますが、この勢いのまま上位を目指します。



創部32年目にて悲願の初優勝

ボート部が、全日本選手権大会 男子エイトで銅メダル獲得

2011年9月に行われたボートの日本一を決める全日本選手権で、男子エイトが見事3位でゴール。エイト種目4回目の挑戦で過去最高位になりました。



銅メダルを獲得した当社ボート部

決算概要

連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

| 科目 | 当期末 (2012年3月31日) | 前期末 (2011年3月31日) |
|--------------|---------------------|---------------------|
| ●資産の部 | | |
| 流動資産 | 372,052 | 279,177 |
| 固定資産 | 225,602 | 225,294 |
| 有形固定資産 | 189,832 | 190,277 |
| 無形固定資産 | 4,426 | 2,841 |
| 投資その他の資産 | 31,342 | 32,175 |
| 資産合計 | 597,654 | 504,472 |

連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

| 科目 | 当期 (2011年4月1日～ 2012年3月31日) | 前期 (2010年4月1日～ 2011年3月31日) |
|--------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 売上高 | 964,295 | 983,727 |
| 売上総利益 | 79,196 | 88,650 |
| 販売費及び一般管理費 | 58,286 | 51,793 |
| 営業利益 | 20,910 | 36,856 |
| 営業外収益 | 8,913 | 8,107 |
| 営業外費用 | 6,598 | 8,937 |
| 経常利益 | 23,225 | 36,027 |
| 特別損失 | 3,288 | 2,412 |
| 税金等調整前当期純利益 | 19,937 | 33,615 |
| 法人税等合計 | 11,412 | 13,605 |
| 少数株主利益 | 5,291 | 8,542 |
| 当期純利益 | 3,232 | 11,466 |

(単位：百万円)

| 科目 | 当期末 (2012年3月31日) | 前期末 (2011年3月31日) |
|----------------|---------------------|---------------------|
| ●負債の部 | | |
| 流動負債 | 272,204 | 185,282 |
| 固定負債 | 135,101 | 122,196 |
| 負債合計 | 407,306 | 307,479 |
| ●純資産の部 | | |
| 株主資本 | 189,454 | 189,001 |
| その他の包括利益累計額 | △ 28,439 | △ 23,936 |
| 新株予約権 | 972 | 872 |
| 少数株主持分 | 28,360 | 31,055 |
| 純資産合計 | 190,347 | 196,992 |
| 負債純資産合計 | 597,654 | 504,472 |

期末配当金について

2012年6月14日開催の株主総会において、2012年3月31日の最終の株主名簿（実質株主名簿を含む）に記載もしくは記録された株主または登録株式質権者に対し、次のとおり期末配当金をお支払いします。

1. 期末配当金：1株につき9円
2. 効力発生日ならびに支払い開始日：2012年6月15日

当社のIR活動

個人投資家向けセミナーを積極的に開催し、投資家のみなさまとのコミュニケーションを図っています。また、個人株主のみなさまに、生産ライン見学を通じてトヨタ紡織グループへの理解を深めていただくため、定期的に工場見学会を開催しています。

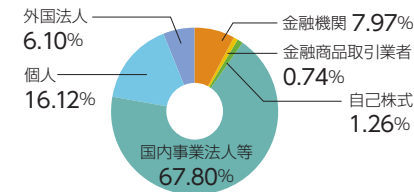
会社の概況 (2012年3月31日現在)

株式の総数

発行可能株式総数 500,000,000株
発行済株式の総数 187,665,738株

株主数 (22,040名)

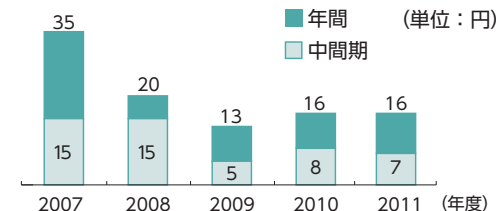
●所有者別株式分布状況



大株主 (上位10社)

| 株主名 | 持株数(株) |
|----------------------|------------|
| トヨタ自動車株式会社 | 73,653,995 |
| 東和不動産株式会社 | 18,346,209 |
| 株式会社デンソー | 10,192,100 |
| 株式会社豊田自動織機 | 7,756,062 |
| 日本発条株式会社 | 7,220,500 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 | 6,517,200 |
| 豊田通商株式会社 | 4,367,100 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 | 3,684,200 |
| トヨタ紡織従業員持株会 | 2,327,619 |
| 資産管理サービス信託銀行株式会社 | 1,013,300 |

●配当金の推移



当社は、安定的な配当の継続を基本に、連結業績および配当性向などを総合的に勘案し、株主の皆様のご期待にお応えしていくことを配当の基本方針としています。

会社データ

設立 1950年5月
資本金 8,400百万円
従業員数 単独 8,147名 連結 31,883名
本社 愛知県刈谷市豊田町1丁目1番地

役員 [取締役および監査役]

| | | | |
|--------|-------|-------|-------|
| 取締役社長 | 豊田 周平 | 取締役 | 堀 弘平 |
| 取締役副社長 | 飯田 耕次 | 取締役 | 内山田竹志 |
| 取締役副社長 | 寺坂 幸一 | 取締役 | 宮木 正彦 |
| 取締役副社長 | 宮寺 和彦 | 常勤監査役 | 桂木 正樹 |
| 取締役 | 上田 広司 | 常勤監査役 | 伊藤 嘉徳 |
| 取締役 | 野田 憲一 | 監査役 | 豊田 章男 |
| 取締役 | 伊藤 文隆 | 監査役 | 吉田 均 |
| 取締役 | 滝 隆道 | 監査役 | 加藤 宣明 |

主な製品



●内装品

シート、ドアトリム、天井、カーペットなどから構成される移動空間を統合的・効率的にコーディネートされたシステムとして捉え、総合的な美しさや快適性・安全性を追求しています。



●フィルター・パワートレイン機器部品

世界をリードするフィルトレーション技術を駆使し、吸気システム製品や、エレメント交換型オイルフィルターなどのエンジン潤滑系製品、車室内空調系フィルター製品などの開発・生産を行っています。



●繊維・外装品他

繊維事業ではエアバッグ用布製品、天井表皮材などの開発・生産を行っています。また、外装品事業では補給用バンパー、フェンダーライナーやエンジンアンダーカバーの生産を行っています。

株式事務のお取扱いについて

| | |
|------------------------|--|
| 事業年度 | 4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 配当金支払株主確定日 | 3月31日 なお、中間配当を実施するときは9月30日 |
| 株主名簿管理人 および特別口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 |

ご注意

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関するお手続きについて

■ 特別口座に記録された株式

| | | |
|------------------|--|---|
| お手続き、 ご照会等の内容 | <ul style="list-style-type: none">● 特別口座から一般口座への振替請求● 単元未満株式の買取（買増）請求● 住所・氏名等のご変更● 特別口座の残高照会● 配当金の受領方法の指定※ | <ul style="list-style-type: none">● 郵送物等の発送と返戻に関するご照会● 支払期限経過後の配当金に関するご照会● 株式事務に関する一般的なお問合せ |
| お問合せ先 | 特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 | 株主名簿管理人 |
| | 【手続き書類のご請求方法】 <ul style="list-style-type: none">● 音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479（通話料無料）● インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/ | |

※特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

■ 証券会社等の口座に記録された株式

| | | |
|------------------|---|--|
| お手続き、 ご照会等の内容 | <ul style="list-style-type: none">● 郵送物等の発送と返戻に関するご照会● 支払期限経過後の配当金に関するご照会● 株式事務に関する一般的なお問合せ | <ul style="list-style-type: none">● 左記以外のお手続き、ご照会等 |
| お問合せ先 | 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 | 口座を開設されている 証券会社等にお問合せください |

お問合せ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL 0120-232-711（通話料無料）